

-----  
当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.  
-----

研究報告・東京外大・AA 研共同利用・共同研究課題・2018-2020 年度・第 3 回研究会  
「南アジアにおけるムスリム社会の民族誌的研究」

第 3 回の共同研究会は、2019 年 6 月 15 日（土）に、東京外国語大学・本郷サテライト  
で、日本語と英語による二部構成の研究会として開催された。

第一部の第一報告者は、AA 研共同研究員で高崎経済大学の小牧幸代氏であり、「ノルウ  
ェーのパキスタン系移民社会と強制結婚」と題し、移民の文化として批判の対象にされる  
「強制結婚」の問題を、ノルウェーのパキスタン系ムスリム移民社会の事例に基づいて考察  
した。特に、移民女性がノルウェー政府・NGO 団体の支援対象になるのに対して、移民男  
性は、出身地と移民先を結ぶネットワークに依存して支えられているという現状が明らか  
にされ、「強制結婚」の問題を複数の角度から検討する必要性が指摘された。

第二報告者は、AA 研共同研究員で宮城学院女子大学の八木祐子氏であり、「ボージプリー  
ー文化圏における婚姻儀礼と民俗歌謡の変化」と題し、北インド、ウッタル・プラデーシュ  
州東部にあるボージプリー文化圏の婚姻儀礼の変化について、1980 年代から継続的に行わ  
れている現地調査の資料に基づいて検証した。特に、インドの婚姻儀礼が、都市部と同様に  
農村部でも、年々、賑やかで盛大な行事として行われている現状が報告され、婚姻儀礼にお  
ける女性の儀礼的歌謡など、近年の婚姻儀礼の変化が報告された。

第二部の報告者は、AA 研共同研究員で外国人客員研究員として来日中の、インド国デリ  
ー大学のオビジット・ダスグプタ教授であり、Mahatma Gandhi and an Anthropologist と題  
して、インド独立の父マハトマ・ガンディーと、インドの文化人類学者ニルモル・クマル・  
ボースとの関りについて報告を行った。特に、独立を目前にした 1946 年の東ベンガル・ノ  
アカリ地方で起きた宗派暴動に際して、その暴動の収束のためにノアカリ地方の農村部に  
滞在し、ヒンドゥー教徒とムスリムとの双方の調停に努めたガンディーと、そのガンディー  
の活動に通訳として参加し、ガンディーをめぐる様々な出来事について詳細な記録を残し  
た人類学者 N.K. ボースとの関りについて検証がなされた。ダスグプタ教授の報告に続いて、  
AA 研共同研究員で奈良県立大学の中谷哲弥氏と鹿児島大学の中谷純江氏は、ディスカッサ  
ントとしてコメントを行い、その後、参加者との質疑が行われた。

プログラムは、以下の通り。

第3回 AA 研共同研究課題・FINDAS 共催研究会

日時：6月15日（土）13:00～18:00

場所：東京外国語大学・本郷サテライト4階

第一部（in Japanese）：

小牧 幸代（AA 研共同研究員、高崎経済大学）

「ノルウェーのパキスタン系移民社会と強制結婚」

Pakistani Community and Forced Marriage in Norway.

八木 裕子（AA 研共同研究員、宮城学院女子大学）

「ボージプリー文化圏における婚姻儀礼と民俗歌謡の変化」

Marriage Ceremonies and Ritual songs in Bhojipuri Region

第二部（in English）：

Abhijit Dasgupta（AA 研共同研究員、AA 研外国人客員研究員、Professor of University of Delhi）

「Mahatma Gandhi and an Anthropologist」

討論者：中谷 哲弥（AA 研外国人客員研究員、奈良県立大学）& 中谷 純江（鹿児島大学）